



明石市コミュニティ・スクールだより  
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

## コミコミスクス

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

### あけましておめでとうございます 「新しい時代を見据えた学校づくり」元年に

2020年が始まりました。夏にはオリンピック・パラリンピックがあり、日本中が今年のラグビーワールドカップ以上に盛り上がるのではと思っています。

学校においては、小学校では新学習指導要領が本格実施となり、いよいよ“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」”を実現していかなければなりません。

教育課程そのものを社会に開いていくことが求められており、「これからの教育課程の理念」が「次期学習指導要領等にむけたこれまでの審議のまとめ」の中で次のように書かれています。

#### ＜社会に開かれた教育課程＞

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会づくりを目指すという目標を持ち、教育課程を介してその理念を社会と共有していくこと。
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合っていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

また、昨年末に出された“新しい時代の初等中等教育の在り方論点とりまとめ”の中で、『新しい時代を見据えた学校教育の姿（2020年代を通じて実現を目指すイメージ）』が示され、“育成を目指すべき資質・能力”として「①自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成②変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成」と示されています。

では、“どうやって教育課程そのものを社会に開いていくか”、“どうやって求められる資質・能力を育成していくか”を考えたとき、コミュニティ・スクールへの取組そのものが、教育課程を社会に開き、

未来の創り手として必要な資質・能力を育ていく新しい時代を見据えた学校教育づくりにつながっていくと考えています。

「本当に地域に信頼されている？」

「本当に地域に開かれている？」


「本当に地域との協働はうまくいっている？」

学校目線ではそのように思えても、  
未来目線ではどうなのでしょう？

学校目線ではなく、未来目線に立って、“未来を見据えた学校教育”のデザインを校内研究等で取組む時代がきたのではと思います。

2020年が“新しい時代を見据えた学校づくり”元年になったらいいなと思います。


地域に信頼されていますか？地域に開かれていますか？  
地域との協働はうまくいっていますか？



うちの学校は「**地域に信頼される学校**」を目指しており、地域の方にどんどん学校に入ってもらっています。  
「**地域に開かれた学校**」であり、地域との**協働**による取組はうまくいっています。

**コミュニティ・スクールと言わなくても…**

見守り隊	防災訓練	読み聞かせ
花づくり 野菜作り	昔の遊び 戦争体験	地域清掃



## コミュニティ・スクール自主研修会

苫野一徳先生と共に考える  
これからの学校づくり・地域づくり

コミュニティ・スクールをとおして未来の学校・地域づくり  
人生100年時代に対応する教育システムづくり



みんな一緒、みんな同じの  
150年かわらないこの国のシステムは  
本気で変えなくてはならない  
苫野一徳著「学校をつくり直す」より

未来を創る当事者として

難問は根元から  
引き抜かなければならない  
哲学者ルートヴィヒ・ワイゲンシュタイン

○日時 2020年2月14日(金) 17:00~18:30(予定)

○場所 明石商工会議所7階ホール

○対象 教職員&一般市民 定員150名

○講師 苫野一徳氏 哲学者・教育学者

熊本大学教育学部准教授・軽井沢風越学園理事

公教育の本質は「自由の相互承認」の実質化にあるとし、その具体的なあり方として「学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合」などを提唱。全国で教員・一般向けの講演やワークショップ、セミナー等で積極的に発信中  
「どのような教育が『よい』教育か」「勉強するのは何のため?」「『学校』をつくり直す」「ほんとうの道徳」「愛」等 著書多数

○内容 講話&対話

コミュニティ・スクールをとおして未来の学校・地域づくり  
～人生100年時代に対応する教育システムづくり～  
※『学校』をつくり直すを事前に読んで参加いただけるとありがたいです

○申込 先着順(定員150名になり次第締め切り)

・2020年1月16日より申込受付

・申込先明石市教育委員会学校教育課 FAX又はメールにて

FAX:078-918-5111 e-mail:gakkyo@city.akashi.lg.jp

※記入事項 ① コミュニティスクール自主研修会参加希望

② お名前・連絡先(メールアドレス&電話)

個人情報につき研修会終了後廃棄します

問い合わせ 明石市教育委員会学校教育課 078-918-5055 担当 本所・北本

2月14日(金)・2月15日(土)にコミュニティ・スクールや地域づくりに関わる研修会が下記のとおり開催します。

対話しながらこれからの学校づくり&まちづくりを考えることができたらいなと思っています。

### 『コミュニティ・スクール自主研修会』

1. 日時 2020年2月14日(金) 17:00~18:30(予定)

2. 場所 明石商工会議所7階ホール

3. 対象 教職員&一般市民 定員150名

4. 講師 苫野一徳氏 哲学者・教育学者

熊本大学教育学部准教授・軽井沢風越学園理事

5. 内容 講話&対話

コミュニティ・スクールをとおして未来の学校・地域づくり

～人生100年時代に対応する教育システムづくり～

6. 申込 先着順(定員150名になり次第締め切り)

・2020年1月16日より申込受付

・申込先明石市教育委員会学校教育課

FAX 又はメールにて

FAX: (078-918-5111) 又は

メール: e-mail:gakkyo@city.akashi.lg.jp

### 『ジチラボ plus～地域自治へのアプローチ～』

主催一般財団法人明石コミュニティ創造協会

1. 日時 2020年2月15日(土) 13:30~17:30

2. 場所 ウィズあかしフリースペース

3. 対象 中間支援組織の職員、市町社協職員(生活支援コーディネーター等)、市町職員(地域関係部署)、NPO、学識者等 定員60名 参加費1000円  
1月7日から受付開始、定員になり次第締め切り

5. 内容 ゲストレクチャー 及び分科会について

ゲストレクチャー: 「地域づくりを自分ごとにするには」

斎藤主税さん(NPO法人都岐沙羅パートナーズ事務局長)

分科会1: 地域運営組織と自治会

～補完性の原則を改めて考える～

分科会2: 地域づくりと地域福祉の関係性

～コミュニティワークと

コミュニティソーシャルワークの違いを考える～

分科会3: 地域における生涯学習の役割

～コミュニティ・スクールと地域づくり～

分科会4: 地域自治を支援する中間支援とは

～市民活動支援センターの役割を考える～

6. 申込 一般財団法人コミュニティ創造協会

電話078-918-5603 メール oubo@a-machi.jp

必要情報 ①名前②所属③連絡先④希望する分科会

(文責:北本)

# ジチラボ plus

地域自治へのアプローチ

「地域運営組織」「小規模多機能型自治」の動きが全国的に加速しています。それら地域自治を進めていくと、福祉や生涯学習など様々な分野と連携が求められます。どうすれば良い協働が生まれるのか、地域自治へのアプローチを多角的に考えます。

2/15(土) 13:30~17:30

複合型交流拠点ウィズあかし  
(兵庫県明石市東条ノ町6-1アスピア明石本館8階)  
参加費1000円+要申込(詳細は裏面)

ゲストレクチャー (13:40~)

「地域づくりを自分ごとにする」



齋藤 主税氏  
NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター  
代表・事務局長

1971年生まれ。事業型NPO代表(兵庫県)出身。1996年、熊本大学大学院国際研究科修士課程修了。現在(株)都岐沙羅研究所に入社し、企業各地のまちづくり推進を支援。2004年に(株)都岐沙羅研究所を設立。NPOの立場から多様なまちづくり事業の推進に貢献。NPO法人まちづくり学校・都岐沙羅・NPO法人あいらずworks(代表)、都岐沙羅、NPO法人あいらずワークス(代表)、社団法人あいらずワークス(代表)生活支援コーディネーター(第2期)也。

分科会 (14:40~)

①	地域運営組織と自治会 補完性の原則を改めて考える
②	地域づくりと地域福祉の関係性 コミュニティワークと コミュニティソーシャルワークの違いを考える
③	地域における生涯学習の役割 コミュニティ・スクールと地域づくり
④	地域自治を支援する中間支援とは 市民活動支援センターの役割を考える

※分科会のゲストは随時ご変更ください。  
主催 一般財団法人明石コミュニティ創造協会  
※本会は2019年度よりこの法人格を「市民活動センター」として運営しています。